

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合  
大阪市天王寺区  
東高津町7 11  
府教育会館704号  
(TEL)6765-8904  
(FAX)6765-8905

## 安倍政権による明文改憲を許さず、憲法9条を守り生かそう すべての子どもの成長と発達を保障する教育を発展させよう

### 2017年度

## 大障教定期大会

大障教は5月13日、大阪府教育会館において2017年度定期大会を開催しました。

執行委員長のあいさつに続き、来賓として、障害者(児)を守る全大阪連絡協議会(障連協)代表幹事の井上泰司さんから、連帯のあいさつを受けました。

討論では12分會5専門部、18人が発言しました。討論を受けての採決により、すべての執行部提案が圧倒的多数の賛成を得て決定しました。

### 2017年度 大障教 定期大会



あいさつする戸田執行委員長

開会あいさつの中で戸田委員長は、期限を切つて明文改憲を主張し、多くの国民の声を無視した安倍政権の暴走を阻止するため、9条を守り生かせる声をさらに大きく広げていこうと訴えました。

討論では、HR教室が不足し、窓が開けられない部屋まで転用した(枚方：佐々木代議員)、「トイレ不足で、常に長蛇の列ができていて、東住吉：平部代議員)、「入舎基準が一方的に変更され、8名の寄宿舎入舎が取り消された(北視覚：横山代議員)、「給食の民間委託化の突然の延期によって、学校の信用自体がつぶされた(豊中：金澤代議員)、「看護師の定数外配置を実現し、教員数を確保したい(交野：岸下代議員)、「常時子どもに付き添っている保護者の負担は非常に大きい(交野：神原代議員)、「臨時技師(看護師)の勤務条件は悪すぎて、働き盛りの世代は仕事を

続けられない(箕面：藤嶋代議員)など、不十分な教育条件整備や府教委施策が、学校現場に与えている深刻な実態が語られました。

また、視覚支援学校卒業生の進路保障のとりくみに「協力(北視覚：藤本代議員)、「心の健康を害された教員について、労災等を認めるように働きかけていきたい(難波：片倉代議員)、「パワハラ防止指針が実効力のあるものとして、見直されることを願う(富田林：田中代議員)、「北河内宿泊教研は、障害児教育の歴史が若い方々に引継がれていく重要な機会となっている(寝屋川：山岡代議員)など、職場の厳しい状況や分会のとりくみもリアルに報告されました。



執行部提案が圧倒的多数の賛成を得て決定しました

専門部からは、現在無理だと言われていることも、道理と運動があれば実現可能だ(臨対部：玉城代議員)、「栄養教諭未配置校が全国に2万もある状況では、複数配置の要求はなかなか実現しない(栄養教員部：武田代議員)、「大障教となり、実習教員の実態を把握するための調査を行いたい(実教部：田中代議員)、「尊敬する人がある人に若者は動かされる(ベテランの先生方にはどうかが青年層のお尻をたたいてほしい(青年部：吉松代議員)、「思いやりや優しさ、笑顔が自然に出る職場はミスが無く効率の良い職場。それを守っていくのが組合活動(女性部：荒木代議員)などの報告がありました。

さらに、「世の中に視点を向けていなければ、障害のある子どもの教育は守れない(泉南：奥野代議員)、「大阪維新の会による民主主義教育の破壊にストップをかけるために教員組合として果たす役割は小さくない(大手前：西田代議員)など、教育を取り巻く状況を深める発言もありました。

「父母とともに要求し、運動してこそ子どもの未来を開くことができる。府立支援学校の建設計画策定を求める運動の強化の方針を支持し、全面的に実践する決意だ(東大阪：杉本代議員)という力強い発言で、討論は締めくくられました。

大障教ホームページアドレス <http://www.1a.biglobe.ne.jp/fushou/> Eメール アドレス : fushoukyou\_1@mtb.biglobe.ne.jp



「狙われるのは一般人！共謀罪がやって来る！」もの言う自由と運動つづしが狙い「PTAママも犯罪集団！？」これらは女性週刊誌に掲載された記事の抜粋です。安倍政権がオリンピックのテロ対策を口実に、今の国会での成立を狙う「共謀罪」法案(組織犯罪処罰法改正案)に対しては、様々な立場の人たちが警鐘を鳴らしています。

日本や欧米など近代国家の刑法は、行為が伴わない限り人を罰することができないのが大原則です。しかし「共謀罪」は、犯罪行為をしなくても、2人以上が犯罪を「計画」して「準備行為」をしたと警察が判断すれば、処罰されるという恐ろしい法律です。

近代国家が成立するまでは、時の権力者の地位を脅かし、謀反を起すのではと疑われただけで、何もしていなくても処刑されるという状況が続いてきました。こうした歴史を経て、近代以降は行為を伴わない限り刑罰を科することはできなくなりました。「共謀罪」法案が成立してしまえば、日本の刑法は近代以前に逆戻りし、ものを考えただけでも罰せられる社会を再びつくることになってしまいます。

テレビ番組のコメントーターとして活躍されている大谷昭宏さんは、差別などが社会のゆがみを生みそれがテロリストをつくりあげると指摘しました。その上で、「格差社会になり、市民社会が抑えつけられ、ものが言えない社会になると、テロ行為につながる危険性は十分にあるはず。共謀罪なんかをつくるより、逆にテロリストを生み出す」などと述べ、「共謀罪」は人間として反対すべき法案だと訴えています。

別ブロック  
歓迎転任の  
つどい

第2回 「北河内ブロック・そつだ！先輩に聞こう！」

初任者3人が組合加入！

楽しく、充実したひとときをすごしました！



4月15日、北河内地域の5分会(交野支援学校分会・四條畷校分会・寝屋川支援学校分会・枚方支援学校分会・守口支援学校分会)が合同で新歓のとりくみ、そつだ！先輩に聞こう！を行い、27人が参加しました。

好評だった「ちよつと先輩の話」！

今回は各分会でとりくんでいた権利学習に加え、新採2年目の組合員や、数年前に初任だった組合員の皆さんに、「ちよつと先輩の話」をお願いしました。始めにアイスブレイクとして、「お名前リレーゲーム」で楽しみながら互いの名前を覚えていきました。リラックスしたところで、3人の若い先輩たちが、新しく迎えた後輩のために今までの経験や教育に対する熱い思いを伝えてくれました。



お名前リレーゲーム

最後は「分会って何？」

「分会って何？」というコーナーでは、組合にはだれでも入れること、気持ちよく働けるように、また豊かな教育ができるように、教育と生活を守るのが組合であることを参加者に訴えました。若い教職員のため

教室不足、教職員の多忙さ、給食の民間委託化など、各学校が抱えている課題が報告されました。最後に、「知ろうとしない」とわからない、「一歩引いてみて改めて子どもの見方を知ることができる」「個人ではできないことも組織として交渉できる」など組合活動の意義を語ってしめくり、新歓第一部が終わりました。第2部ではおいしい中華料理の円卓を囲んで組合や教育への思いを一人ひとりなごやかに語りました。参加者アンケートには、「知らないことを聞くことができよかつた」「先輩の話から多くのことが学べた」「自分から動いて吸収する必要性がわかつた」「できないこともちよつとずつ頑張りたいなど」前向きな感想が寄せられました。その日、3名の初任の先生の加入があり、嬉しく充実した新歓となりました。



みんなの顔を見ながら  
楽しくお話ししました

「障害児教育の専門性を学ぶため、支援学校の教員免許がなくても採用される大阪府を他府県から再受験した」という熱い思いがまず語られました。授業については「ベテランも悩みながら授業作りをしているから、若い私たちと同じであり、何も恐れることはない、失敗を恐れずチャレンジすることが大事」「子どもたちにどんな授業をすればいいのか、ひとり一人に向き合い、100%準備した授業をする

勉強になった  
「権利学習会」

次に、年休の取り方や、妊娠・出産時等に関する女性の権利、給与明細の見方、「評価・育成システム」など、知っておくべき権利についても学習しました。

「分会って何？」というコーナーでは、組合にはだれでも入れること、気持ちよく働けるように、また豊かな教育ができるように、教育と生活を守るのが組合であることを参加者に訴えました。若い教職員のため

第2回

分会名：藤井寺支援学校分会  
分会長：植松洋美  
障害種別：肢体不自由校  
児童生徒数：135人

どんな分会？：4月に新転任の方を歓迎する「カレー昼食会」を行ったり、学期ごとにお弁当をみんなで食べたりと、和気あいあいとした雰囲気の分会です。普段は特に目立った活動はしていませんが、それは職場の雰囲気が良く、助け合いの「心」が根付いている学校だからだと思っています。見方を変えれば、分会の先輩方が築き、守り続けてきてくださった「心」だと思えます。

これからも「子どもたちのために」「教職員みんなのために」をモットーに、何でも気軽に話せる、相談できる「心」ある分会の輪を広げていけたらと願っています。